

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL http://www.jaichi.jp TEL(052)916-2251
EX-ル info@jaichi.jp FAX(052)916-2308

2013. 8. 10
8. 25 合併号
No.1076

発行責任者 柳 進 定価 10円
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

第59回 愛知母親大会

とき 9月8日(日)10:00~
ところ アイプラザ豊橋



伊藤慎次執行委員長

参議院選挙の結果、自民公明の与党が衆参で過半数を取り、ねじれ解消と言っているが、国民が安倍自民党政権を全面的に支持したわけでは無い。悪政を強行すればするほど国民と政治とのねじれは大きくなる。私たち公務労働者がくらしを守るために、たたかひの先頭で住民と共に奮闘する。その姿を

組織の強化拡大で 賃下げはね返そう

り9月議会に向け、賃下げ攻撃が強まってくる。6月議会上程阻止や退職手当削減の時にように、私たちがいかに反対の流れをつくっていくかが大切だ。憲法違反の不当な賃下げ

闘いただいてきた運動によって今日の到達点をつくりだしている。政府・財界が厳しくすすめる悪政に対して、我々は正面から立ち向かうためにも、組織を大きく、強くしよう。

伊藤県本部 委員長あいさつ

本は、すべての自治労連単組の中でみなさんんとみなさんの先輩にご奮

見ていただくことが、私たちへの信頼を高め、公務員攻撃をはね返す力にもつながる。公務員賃金引き下げについて、地方交付税の削減額が決定した。これによる

攻撃に正面から立ち向かう全体的なとりくみを展開しよう。自治労連がかかげてきた「すべての自治体公務員共業務に働く労働者の要求と団結の母体」という基



住民の願いに応えた要求かかげ 悪政を阻止しよう

「職場・地域で対話と共同を広げ 憲法と地方自治が輝く社会をめざそう」をメインスローガンに掲げた、自治労連愛知県本部第111回定期大会が、7月27日、ウィル愛知で開催されました。大会には31単組から124名の代表議員・中央委員が参加し、「労働者・住民の願いにこたえた運動の展開で悪政を阻止しよう」と3時間におよぶ活発な討論を展開。公務員サービスの拡充、安全安心の住民生活、そして組合員の要求実現に向けた2013年度の運動方針を確立し、新役員を選出しました。



代表議員証を高く掲げ議案を承認

第111回 県本部 定期大会

大会をはじめに伊藤委員長が、「悪政による国民と政治とのねじれは大きくなる一方だ。私たち公

務労働者が住民とともにたたかひ、攻撃をはね返そう」とあいさつ。その後、来賓の野村自治労連本部

委員長、樽松愛労連議長、日本共産党愛知県委員会を代表して本村伸子さんから激励と連帯のあいさ

つをいただきました。その後、林書記長が第1号議案「2013年度運動方針案」と第6号議案「当面の闘争方針案」を提案。たたかひの重点と構えとして、不当な賃金引き下げをはね返すたたかひを確信に、産別統一闘争を強化して自治体・公務員関係労働者の権利・賃金、労働条件改善、非正規労働者の均等待遇など改善をめざす。など6つの運動の基本方向について提起しま

つをいただきました。その後、林書記長が第1号議案「2013年度運動方針案」と第6号議案「当面の闘争方針案」を提案。たたかひの重点と構えとして、不当な賃金引き下げをはね返すたたかひを確信に、産別統一闘争を強化して自治体・公務員関係労働者の権利・賃金、労働条件改善、非正規労働者の均等待遇など改善をめざす。など6つの運動の基本方向について提起しま

採決では、運動方針から当面の闘争方針案まで、すべての議案が代表議員の挙手による圧倒的多数で採択。その後、新役員が選出され閉会しました。



→人事院・厚労省前で賃上げを訴え

働くルールの確立求めデモ行進 ↑

労働者・国民の要求実現へ 7・25中央行動

7・25中央行動

7月25日、最賃引き上げ、働くルールの確立、公務員賃金の改善などを求める「7・25中央行動総決起集会」が、東京の日比谷野外音楽堂で行われ全国から2000人、愛知からも知立市職労をはじめ14人の仲間が参加しました。開会あいさつに立った全労連の大黒議長が、「世論と政治の力で消費税増税を阻止し、景気を回復さ

せよう。最賃引き上げと、公務員賃金引き下げを許さないたたかひを強めよう」と参加者に呼びかけました。集会後は各都道府県で要求行動。人事院では官民の実際の賃金格差を是正する勧告を、農水省ではTPP交渉参加撤回を求めるなど、労働者・国民のくらしを守れと訴えました。



市長選で 住民要求実現



武藤代議員
(名古屋市職労)

発言しやすい 会議が大切



古橋代議員
(豊橋市職労)

雇用守れと ビラ配布行動



鳥本代議員
(名水検)

新採10年連続 100%加入



宇佐美代議員
(岩倉市職)

職員の削減が進められる中で、さらに今後3年間で300人の削減計画が発表された。職場アンケートで集まった、技術伝承の大切さ、現場作業のつらさなど意見をもとに交渉に活かしていきたい。育児休業の代替職員の適用拡大で改善があった。

庁内世論盛り上げ 賃上げ上程阻止



小野田代議員
(豊橋市職労)

被災地の海岸で ボランティア活動



星野代議員
(豊橋市職労)

7・8%賃下げが、組合との合意なく議会へ上程された。しかし、県本部や各単組の激励文と請願書が力となり、議会での賃下げを阻止できた。感謝とともに今後もご協力をお願いしたい。

保育園オルグで 残業実態を把握



柵木代議員
(西尾市職)

春の組織拡大について、昨年の教訓をもとに立ち上がりの早いとくみで4月に過半数を達成。「要求実現にあなたの力が必要」と心から訴えた成果。

賃金削減問題について、 丁寧な報告と議論によって 職場での理解を得た。



桐村代議員
(名古屋市職労)

丁寧な報告と議論によって職場での理解を得た。厳しいときだからこそ組合に対する組合員の期待は大きい。組合活動とその成果に確信を持って役員が活動することが大切だ。

賃金カット反対の 朝ビラ実施



浦野代議員
(豊川市職労)

7・8%の賃金カットについて、すべての職員に伝えようと本庁で朝ビラを配布。当局との交渉の中で6月議会に提案しないとの回答を得ることが出来た。

人を動かす 大変さを実感



水野代議員
(豊橋市職労)

女性部の部長を務める中で人を動かすことの大変さを実感。「組合があれば主人は・・・」との倉田さんの訴えを私は忘れない。女性部のみんなに伝えるためにがんばりたい。

執行部答弁

討論では財政小委員長を含め27人が発言。地方公務員災害補償基金について。県支部の参与を県本部で1枠取ってほしい、という要望は持ち帰り検討する。自治労連共済について。単組役員や書記には、組合を拡大する重要なツールとして活用いただいている。子宮筋



林達也書記長

腫の制度改定の問題など、引き続き単組からご意見を頂き議論を進めていく。賃金闘争について。豊橋の決起集会をはじめとした庁内世論を盛り上げるとりくみや、名古屋や名水等の粘り強い交渉による削減額の圧縮など、労働組合の役割が実践された成果だ。県本部が提起した7月26日の7・8%賃下げ反対の一言要求書提出行動では、半田で「実施しない」の回答が引き出されている。全県で産別闘争をすすめる、大きな共同で不

当な公務員攻撃をはねかえす流れをつくらう。公務員バッシングについて。選挙戦を通じても公務員攻撃と、社会保障改悪や改憲などの国民生活改悪が、セットで行われていることは明らか。名古屋の市長選を通じたくらし守るたたかひや、豊橋のいきいきフェスタなど本場に安心して暮らせる地域のために住民と共同するとりくみがすすめられている。この住民と共同した運動をよりいっそう広げる事が重要。

要求実現には、強く大きな労働組合が必要だ。岩倉の10年連続100%加入や、蒲郡のプロジェクターを使った説明会など組織拡大の発言が多かった。若い代議員から、活動の中で組合の必要性や活動への共感が深まった、との発言もあった。それぞれの職場・職域でつながりを広げ、ともに活動する仲間をつくるのが大切。厳しい時だからこそ、職場・地域で対話と共同をすすめる、大きな県本部へ運動を進展させよう。※火災共済の継続者は来月4月1日以降の各支所(単組)の新たな共済期間から、10口以上の契約が必要となります。

財政小委員会報告

委員総数41名中27名が出席。過半数に達していることを確認した。財政小委員会では、第2号、第3号議案、2012年度の決算、2013年度の財政案の予算案について、永井財政局長より詳細な説明を受けた上で、質疑と討論を行った。



財政小委員長
星野代議員
(豊橋市職労)

6単組から発言、以下要旨。○公務員が減らされれば、組合員も減る。財政的な対応が必要。財政の見通しを組合員に明らかにすべき。○組織強化・拡大に向けて県本部として具体的な提案・補助が必要。○自治労連共済は財政的にも組織的にも重要。加入者拡大に向けた継続しうる財政措置を本部に要望してほしい。これらの議論を踏まえた上で第2号・第3号議案とも全員の賛成を得た。

組合の大切さを 伝えていきたい



倉田代議員
(自治体一般)

夫の過労死が裁判で認められなかったのは、職場に労働組合がなかったことが大きい。私の経験を一人でも多くの方に知ってもらい、組合の大切さを訴えていきたい。

夜勤の実態把握し 交渉で訴える



中村代議員
(豊橋市職労)

看護師の夜勤について、

厳しい時だからこそ 組合への期待大きい



桐村代議員
(名古屋市職労)

丁寧な報告と議論によって職場での理解を得た。厳しいときだからこそ組合に対する組合員の期待は大きい。組合活動とその成果に確信を持って役員が活動することが大切だ。

「今後も賃下げ実施しない」 半田・豊橋で回答得る 賃争

自治労連愛知県本部は、全単組から当局に対して「地方財政の拡充に関する要請書」の提出行動をすすめています。

半田市職では提出基準日となる7月26日に、企画部長へ要請書を提出。「国が地方自治や労使自治を否定し、いわば、強制」している今回の要請に組合



「給与削減を行わず地方財政の拡充を求める要請書」を総務部長へ提出する長坂・豊橋市職労委員長(写真中央)

「半田市はすでに人員削減や賃金削減を実施してきている。職員も頑張っており、超勤も減少している。(今回の賃金引下げを實施して)これ以上職員に負担はかけられない」と回答。

豊橋市職労も7月26日に総務部長に要請書を提出し、「国並みの賃下げには断固反対」と求めました。これに対して当局は、「賃下げは実施しない方針に変わりはない。地方交付税を利用した地方自治への介入はおかしいという組合と思いは同じである」と表明。組合のたたかいによって6月議会への賃下げ提案を県下でいち早く見送った姿勢を堅持しました。

要請書は春日井、清須、豊川、知立など多くの単組で提出されています。賃金労働条件の変更は労使合意を基本に、一方的な賃下げを議会上程させないよう、全県的に共同してとりくまれています。

「言いたい劇場」 小菅りや子



安く安心
病入入院 5000円/1日
自治労連 セット共済 掛金 1790円/月



伊藤禎章さん

現地で感じたことを 「自分の言葉」で 伝えたい 原水禁世界大会へ 名水労の参加者に聞く

「自分の目で見て、肌で感じて、それを持ち帰り、自分の言葉で組合の仲間へ伝えたい」と語ってくれたのは、核兵器のない平和な世界を」と8月7日から長崎で開催される、原水禁禁止2013年世界大会に参加する名水労の伊藤禎章さん。名古屋市港区の西部管路センターで働く、水道局に入って7年目の若手組合員です。

「参加した先輩の、行けば価値観が変わる」という話を聞いてずっと行つてみたいと思っていた。核兵器や平和について、教科書やテレビの中でしか学んだことがなかった。自分の見たもの感じたものを、自分の言葉で伝えられるようになりたい」と今回の参加につながりました。「名水労が引き継いできた平和のとおりくみを自分も世界大会に参加して、組合の仲間へ伝え、引き継いでいきたい」と参加の抱負を語る伊藤さん。世界大会には、愛知県本部から10人の仲間が参加します。

思いが伝わる紙面

2013県本部機関紙コンクール

県本部機関紙コンクール



優秀賞に輝いた「自治労連名水労」

ルの表彰式が県本部定期大会で行われました。今年度は、12単組18紙(1種11紙、2種3紙、3種4紙)がエントリー。「組合員の紙面参加」「編集・発行体制の強化」などを参考基準に審査が行われ、以下の機関紙が入賞しました。

【入賞作品】

- 第1種(政令・都市職)
 - ・優秀賞「自治労連名水労」(名水労)
 - ・入賞「なごや市職」(名古屋市職)
- 第2種(町村職・政令都市職の支部・分会)
 - ・優秀賞「うずら」(豊橋市職労・教育支部調理場分会)
 - ・入賞「用務員だより」(豊橋市)

単組定期大会 役員紹介

- 港職労(7月30日)
 - 執行委員長 高木 強
 - 副執行委員長 脇坂 宗勝
 - 書記 長 後藤 隆
 - 豊橋市職労(8月3日)
 - 執行委員長 長坂 圭造
 - 副執行委員長 加藤 健治

お詫びと訂正

1075号の「単組定期大会役員紹介」の中で、日付に誤表記がありました。正しくは名古屋市病職労(7月6日)、名古屋市職労(7月10日)でした。お詫びし、訂正いたします。

おたのしみ プレゼントつき クロスワード パズル

カギを解き、二重枠に入る文字を並べてできる言葉は何でしょう。



- 【タテのカギ】①貴族の若い子弟 ②模擬試験の略 ③そうはがふるさな ④地方特有の ⑤な話題 ⑥吐息 ⑦1万円以上の ⑧刑 ⑨みごと難局を ⑩する ⑪強気に ⑫の ⑬一手で行く

左のクロスワードパズルを解き、解答および名前・組合名・職場をハガキに書いて送ってください。抽選で10名に図書カード(1000円分)を贈呈します。
〒462-0845

名古屋北區柳原3丁目7-8 自治労連愛知県本部教宣部 締め切りは9月30日必着。ハガキに近況や職場での話題、「あいちの仲間」の感想や載せてほしい話など、書き添えてください。

クイズの 当選者

- 1073号のクイズの答えは「コロモガエ」でした。34通応募で34通が正解でした。以下の方に図書カードを送ります。
- 伊藤 若菜(春日井市職労)
 - 近江 将行(豊橋市職労)
 - 木崎 裕子(港職労)
 - 田中 千景(学事労)
 - 寺嶋 佳奈(長久手市職労)
 - 中山 良子(豊橋市職労)
 - 平野ゆかり(自治体一般)
 - 深谷 弘子(蒲都市職)
 - 藤田 佳代(瀬戸市職労)
 - 森 加代子(名古屋市職労)